

美瑛町の教育

令和6年度

美瑛町教育委員会

町章（昭和38年2月制定）



美瑛町の源であり、町のシンボルともいふべき存在の「十勝岳」をかたどり、あわせて町名の第一字「び」を図案化したもので、常に雄々しく伸びる町の発展性とひらがな字体で町民の親和を表したものである。

美瑛町町民憲章（昭和38年2月制定）

わたくしたちは、美瑛町の町民であることに誇りと責任を感じ、この憲章をかかげてその実践につとめましょう。

- 1 心もからだもすこやかに、りっぱにつとめをはたしましょう。
- 1 互にむつみ話しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを守り助けあい、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し文化をたかめ、豊かな郷土をつくりましょう。

町民としての自覚と誇りをもち、あすへむかって力強く歩みを進めるために、町民の総意をこめて、格調高く平明な文で構成した。

町名の由来

美瑛はアイヌ語の「ピイエ」より転訛したもので、「油こい川、油ぎった川」が語源で、いずれの土地を掘っても濁水がわき出す、という意味である。

本町の開拓者は「ビエイ」となまって呼んだ。「美」は美しさを表し「瑛」は王者のごとく、そして明朗な意味を含むことから採用され、美瑛と命名された。

目 次

町の概況	1
教育長・教育委員	2
教育委員会事務局の機構	3
令和6年度一般会計当初予算	4
令和6年度教育費当初予算	5
◎学校教育	
学校教育推進の重点	6
1. 学校等一覧	10
2. 校舎整備	12
3. 教材・教具の整備	13
4. 情報教育の充実	13
5. 国際理解教育及び英語教育の充実	14
6. 就学援助	15
7. 教職員の研修	17
8. 学校保健	18
9. 学校給食	19
10. スクールバス	20
11. 保育の現況	22
12. 学童保育	22
◇校長・教頭名簿	24
◇各種役員・委員名簿	25
◎図書館	
図書館運営	26
1. 蔵書数及び貸出数	28
2. 利用状況	28
3. 図書館事業	29
4. 図書館協議会	29
◎社会教育	
社会教育推進方針	30
◇各種役員・委員名簿	33
◇社会教育・社会体育・学校開放施設一覧	37

町の概況

本町は、北海道のほぼ中央、上川管内の南部、旭川市と富良野市を結ぶJR富良野線の中に位置している。周囲は、東・上川町、東南・十勝岳を隔て新得町、西南・上富良野町、西・中富良野町及び芦別市、西北から北・旭川市、北東から東・東神楽町及び東川町と2市6町に隣接していて、総面積は東京23区の広さに匹敵する676.78km²を有している。そのうち70%以上が山林、約15%が畑地であり「丘のまち」の美しい景観を形成している。

地勢は、概ね波状丘陵で畑のほとんどがここにあり、その丘陵の間をぬって美瑛川、置杵牛川、宇莫別川、辺別川ほか数条の河川が流れ、その地域が水田となっている。

地質は、東部山麓の波状丘陵地帯は残積土壌で、石英粗面岩質の土壌が多い。西部の波状丘陵地帯は湖成洪積土壌であるが、その他大部分は河成沖積土壌である。

気象は内陸的で寒暖の差が著しいが、農耕期（「2020農林業センサス」による5月～6月）の積算温度は2,509℃、降水量は約550mmで、農耕に適した気象条件である。

本町の植民区画設定は明治26年で、当時は神楽村の一部として旭川外三カ村戸長役場のもとにおかれていた。明治27年9月15日、旭地区に開墾の鍬が入れられて以来、大小の農場によって開発の進展をみた。

明治33年6月1日、神楽村より分村して美瑛村（戸長役場）が、大正4年4月1日に2級村制、同12年4月1日に1級村制、昭和15年4月1日に町制が施行された。昭和20年以降、旧陸軍用地等への緊急開拓入植によって人口、農地とも急激に増大したが、昭和35年を最高に人口の減少が続いている。

本町は開拓以来の基幹産業である農業と、白金温泉及び丘の農村景観への観光とが調和を保ちながら発展している。また、地域振興の新たな手法としてフランスにおける先進事例をもとに、小規模な地域が企業と連携し、その地域が持つ資産を有効に活用し自立を図るべく、「日本で最も美しい村」連合の取り組みを行っている。

位置	: 北緯43° 24' 55" 東経142° 19' 28"
人口	: 9,341人（令和6年3月31日現在）
世帯数	: 4,791世帯（令和6年3月31日現在）
面積	: 676.78 km ²

教育長・教育委員



鈴木 貴久 教育長
(R4. 10. 1 就任)



小野寺 晴紀 職務代理
(H24. 10. 1 就任)
(H26. 10. 1 再任)
(H30. 10. 1 再任)
(R4. 10. 1 再任)



打本 菜保子 委員
(H28. 10. 1 就任)
(R2. 10. 1 再任)

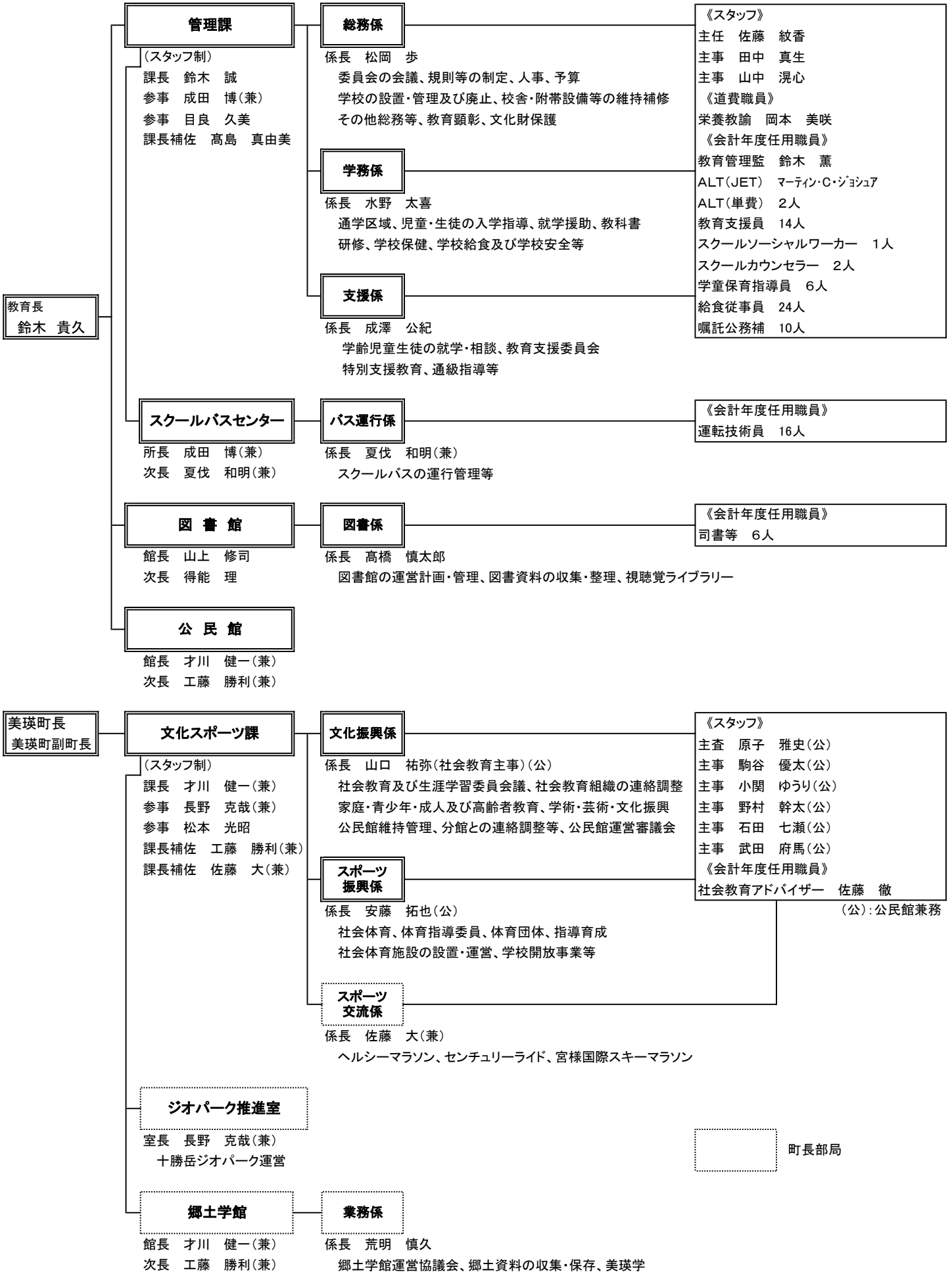


小杉 英紀 委員
(H29. 10. 1 就任)
(R3. 10. 1 再任)



濱田 陽子 委員
(R5. 10. 1 就任)

教育委員会事務局の機構

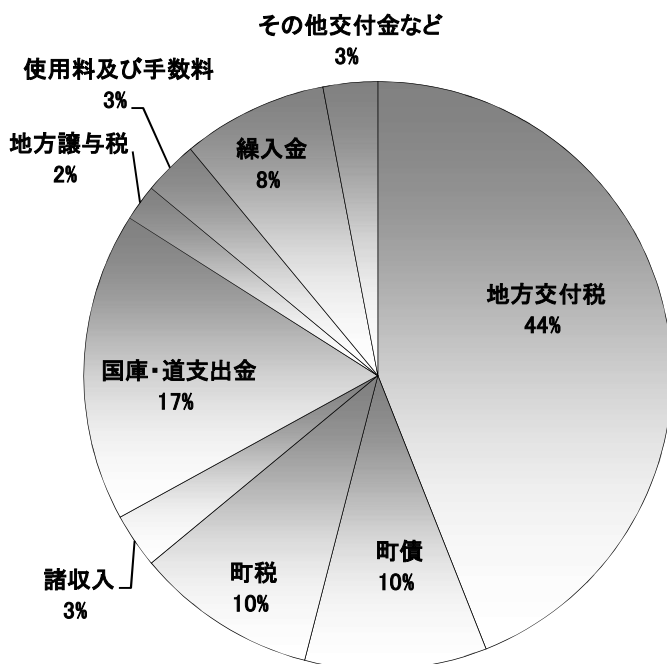


令和6年度 美瑛町一般会計当初予算

一般会計歳出予算

(単位:千円、%)

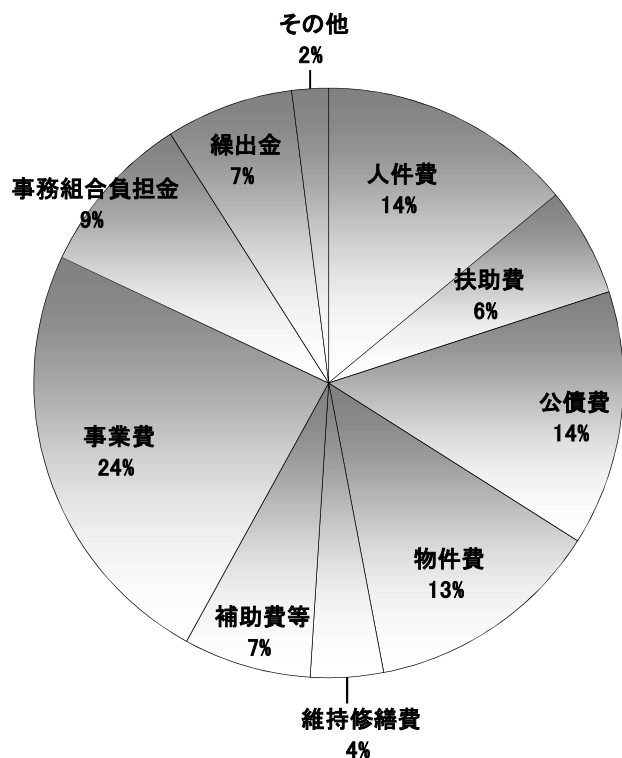
科目	予算額	割合
地方交付税	5,020,000	44
町債	1,165,442	10
町税	1,096,236	10
諸収入	361,612	3
国庫・道支出金	1,864,592	17
地方譲与税	240,214	2
使用料及び手数料	308,400	3
繰入金	934,034	8
その他交付金など	369,470	3
合計	11,360,000	100



一般会計歳出予算

(性質別内訳)(単位:千円、%)

科目	予算額	割合
人件費	1,596,040	14
扶助費	656,123	6
公債費	1,642,228	14
物件費	1,480,494	13
維持修繕費	418,776	4
補助費等	844,955	7
事業費	2,711,469	24
事務組合負担金	1,040,845	9
繰出金	803,690	7
その他	165,380	2
合計	11,360,000	100



令和6年度 教育費当初予算

(単位:千円)

区分	令和6年度当初	前年度当初	増減	増減割合	備考
教育費総額	518,399	496,862	21,537	4.3%	
(管理課所管)	480,050	459,254	20,796	4.5%	
教育総務費	277,671	253,933	23,738	9.3%	
教育委員会費	2,082	2,049	33	1.6%	
事務局費	96,585	85,311	11,274	13.2%	
学校給食費	105,177	96,356	8,821	9.2%	
教員住宅管理費	3,817	3,813	4	0.1%	
通学自動車運行費	61,690	58,586	3,104	5.3%	
学童保育費	8,320	7,818	502	6.4%	
小学校費	127,620	131,633	▲ 4,013	▲ 3.0%	
学校管理費	110,699	113,157	▲ 2,458	▲ 2.2%	
教育振興費	16,921	18,476	▲ 1,555	▲ 8.4%	
中学校費	74,759	73,688	1,071	1.5%	
学校管理費	57,458	55,633	1,825	3.3%	
教育振興費	17,301	18,055	▲ 754	▲ 4.2%	
(公民館所管)	12,100	11,526	574	5.0%	
社会教育費	12,100	11,526	574	5.0%	
社会教育総務費	530	509	21	4.1%	
公民館費	11,570	11,017	553	5.0%	
(図書館所管)	26,249	26,082	167	0.6%	
社会教育費	26,249	26,082	167	0.6%	
図書館費	26,249	26,082	167	0.6%	

令和6年度学校教育推進の重点

グローバル化や情報技術の発展、人口減少など、社会情勢や人々の日常生活・価値観、ワークスタイルが大きく変化しており、従来の知識や経験だけでは解を見いだすことが難しい時代となっています。

こうした変化の激しい時代にあっても、一般的な常識にとらわれず、一歩踏み出して自分で考え行動する力を養い、何事にも意欲的に取り組み、多様性を受容し、他者と協働する能力を身に付けることができるよう、必要な資質・能力が育まれる環境の創出に取り組んでまいります。

また、町の魅力や活力を創出し、郷土への愛着や誇りを持ちながら持続可能な地域を支える人材を育成します。乳幼児期から義務教育へ、義務教育から高等教育等への切れ目ない支援を行うため、町福祉部局とも連携しながら、子どもへの健やかな成長を支える体制を構築してまいります。今後も、町民の皆さまが豊かで生きがいに満ちた暮らしが送られるよう、教育行政の充実と発展に取り組んでまいります。

1. 社会でいきる力の育成

学力の向上につきましては、全ての小中学校で統一した学習規律の定着を図りつつ、主体的・対話的で深い学びの実践によって、子どもたちに新しい時代に求められる資質・能力を育成します。

全国学力・学習状況調査などにより把握できた児童生徒の実態を踏まえ、組織的な学習指導の工夫・改善を図るとともに、長期休業中に実施する小学生学習ルームなどの取組により、一人一人の基礎的学力の定着につなげます。

I C T教育につきましては、学習アプリによる個別最適な学びやグループ討議など協働的な学びの場で積極的に活用し、児童生徒に分かりやすい授業を展開します。

子どもたちの自主的な読書活動を支援するために学校図書館へ図書司書を巡回させ、本の選書や配置の工夫、町立図書館と連携した取組などにより、図書に対する興味・関心を高め読書意欲を引き出せるよう取り組みます。

外国語教育につきましては、専門的に英語の授業を担う外国語専科教諭のほか、外国語指導助手を配置し、生きた英語に親しむ機会や外国の文化を学ぶ授業を通して、英語を用いて基本的なコミュニケーションができる児童生徒を育成するとともに、国際理解教育の推進に努めます。

支援教育につきましては、全ての子どもの実態に応じて、将来、子どもの自

立につながるよう合理的配慮や基礎的環境整備を行い、子ども自身と保護者の意向を聴いて、早期から就学相談、教育相談を重ね、保護者と必要な教育支援について合意形成ができるよう支援体制の充実を図ります。

2. 豊かな人間性と健やかな体の育成

子どもたちが、心身ともに健やかに成長していくためには、豊かな情操や規範意識の醸成、相手の立場になって行動できる心配りや気づかいの心を育むとともに健康な身体を育成することが必要です。

地域の良さに気付き、地域の課題に目を向け、地域の未来を考える、創造性に富んだ感性豊かな子どもを育むため、ふるさとの歴史や文化、自然、産業等について体験的に学ぶ場を重視するとともに、自らの学びに自信と誇りを持ち、積極的に発信する活動を奨励するなど、ふるさと学習・キャリア教育の一層の充実を図ります。

生徒指導につきましては、各校において、他人の価値観を認め、共に協力しながら温かい人間関係に支えられた学校生活を送られるよう、しっかりと児童生徒に寄り添い、居場所づくり、絆づくりに努めます。

また、個々のアンケート等により児童生徒の実態把握に努め、いじめ問題への組織的な対応、不登校の未然防止及び早期解消に努めるとともに、関係機関と一層連携を強化し、思いやる心や自己肯定感の醸成を図りながら、児童生徒の自己実現に向けた支援に取り組みます。

また、子どもたちを取り巻く環境が複雑化、多様化する中で、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを有効に活用するなど、悩みを抱える児童生徒や保護者との相談体制の充実を図ります。

体力向上につきましては、北海道教育委員会の体育エキスパート事業を活用した授業を展開し、児童生徒自身が体力向上に向けた目標を持ち、日常的に運動に親しむ習慣の定着を目指します。

食育につきましては、自校給食の特色を生かし、地元食材の活用・拡大に努め、食事の重要性や食への感謝の気持ちなどを育みます。また、食に関する正しい知識と望ましい食習慣の定着を図り、地域の食文化や地場産品を知る機会を通して本町の産業への理解の向上に努めます。

3. 学びを支える家庭・地域との連携・協働

児童生徒一人一人が資質・能力を最大限伸ばし、この学校で学んでよかったと思える学校とするためには、各学校が地域に開かれ、家庭や地域と信頼し合える関係を構築し、連携・協力して子どもたちを育てることが重要です。

このため、学校経営に対する理解が深まるよう、学校だよりによる教育活動の積極的な情報発信など、開かれた学校づくりの取組を推進し、より一層地域とともにある学校となるよう、コミュニティ・スクールの活性化を図ります。

小中一貫教育につきましては、地域の特性を生かし、美馬牛小学校と美馬牛中学校で同一の教育目標を掲げ、中1ギャップの未然防止、地域・家庭との協働など教育活動の充実を図るとともに、義務教育の9年間を通して培う力を連続的、系統的に育成します。

小・中学校の入学や就学、進学等に際しては、切れ目ない支援の引き継ぎが円滑になされるよう、児童生徒の実態や実情を十分に考慮するとともに、安心して学校生活を送られるよう校種間の連携に努めます。

保護者や地域から信頼されるような魅力ある学校づくりに資する教職員を育成するため、北海道教育委員会などが実施する各種研修事業への参加を促進するほか、教育現場でのニーズに沿った教職員等研修会を引き続き開催します。

また、子どもと向き合う時間を確保し、よりきめ細かな指導につながるよう学校全体で働き方改革を進め、教職員が健康でいきいきとやりがいを持って職務に精励できるよう努めます。

中学校における部活動の地域移行につきましては、昨年度、検討委員会を設置し、児童生徒やその保護者にアンケート調査を行いました。今年度は、調査結果を踏まえ、生徒にとって望ましい地域スポーツ及び文化活動の在り方について検討します。

4. 教育環境の充実

子どもたちの健やかな成長のためには、毎日安心して学びを行うことのできる環境の確保が必要です。

児童生徒の安全確保につきましては、以前から通学路交通安全プログラムに基づき関係機関と協議を重ねており、なかよし公園前の手押し信号機の設置に向けた工事を実施します。また、不審者等の情報にも早期対応するなど、関係機関と連携して子どもの安全確保に努めます。

学校施設につきましては、必要な維持補修を進めるとともに、エアコンの未設置校に空調設備を整備するなど、児童生徒が快適に学校生活を送られるよう、安全・安心な環境の創出に努めます。

児童生徒の登下校を支えるため、スクールバスを運行するとともに、既存車両の維持補修に努め、安全運転を徹底し、通学環境の維持に努めます。また、遠方より通学し、部活動をしている生徒の下校の支援について、部活動の地域

移行と合わせて利便性の向上について検討します。

保護者の経済的な負担を軽減するため、学校給食費の無償化やスキー授業におけるリフト代の助成、修学旅行費の一部助成などを継続して取り組みます。

1. 学校等一覧

(1) 各学校の概況

休校

学校名	創立	学校施設の概況					暖房		警備			
		建築年度	校舎面積(㎡)	屋体面積(㎡)	事業費(千円)	普通教室数	特別教室数	学校数地(㎡)	中央	個別	機械	委託
美瑛小学校	M32.10.20 尋常小学校開設	S52～S53			760,240							
		H15.6 改造			317,859							
		H27 大規模改修	4,809	1,084	256,695	19	12	32,294	電気			○
		H28 大規模改修			41,172							
		H28 繰越 大規模改修			344,304							
		H29 大規模改修			239,404							
美馬牛小学校	M43.4.1 T6.4.1 特別教授所 尋常小学校と改称	S59	1,254	660	340,350	7	4	34,131		F		○
		H26 改造			64,649							
美浜小学校	M33.4.21 M42.4.1 簡易教育所開設 尋常小学校と改称	S57	1,209	679	392,300	6	3	48,974	温水			○
		H27～H28 改造			146,858							
明德小学校	M34.9.5 M45.4.1 私設教育所 尋常小学校と改称	S54	659	270	388,550	4	7	15,528	温水		○	
		H8 改造			21,115							
美瑛東小学校	S46.11.1 統合(東瑛・千代田)	H27 屋体補強			41,429							
		S45～S47	3,628	791	215,440	13	8	31,478	温水			○
		S62～H元 改造			281,327							
		H25 大規模改修			324,954							
宇莫別小学校	M37 M40.4.6 T6.4.1 私立教育所 教育所 尋常小学校と改称 H16.3.31 休校	S58	660	405	218,400	3	3	19,905		F		○
		計		12,219	3,889		52	37	182,310			
		S49～S51			755,777							
		H3.4 改造	5,558	1,195	229,551	17	10	49,305	電気			○
美馬牛中学校	S22.5.1 S51.4.1 美瑛・美沢・置杵牛・宇莫別・美田中統合 H3.4.1 旭中統合	H26 大規模改修			612,424							
		S22.5.10 S27.4.1 美瑛第一中西美分校として 美馬牛中学校と改称	1,314	771	399,840	7	5	42,783	温水			○
計		6,872		1,966		24	15	92,088				

(2) 学校別 児童・生徒数、学級数、教職員数

(特別支援:内数) (町費職員:内数)

へき 地級	学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計		学級 数	教職員数							
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	校長 教頭	教員		養護 栄養 事務生	公務補 計						
	美瑛小学校	(8)	(2)	(10)	(6)	(6)	(12)	(5)	(6)	(11)	(3)	(3)	(8)	(3)	(11)	(3)	(3)	(6)	(3)	(1)	(2)	(6)		
	美馬牛小学校				(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)		(2)	(2)	(2)	(8)	(1)	(9)	(3)	(1)		(1)	(2)		
準	美沢小学校					(1)	(1)	(1)	(2)	(2)		(2)	(2)	(5)	(5)	(3)	(5)	(3)			(2)	(2)		
1	明德小学校				(1)		(1)				(2)	(1)	(3)	(2)	(2)	(4)	(3)	(2)			(1)	(1)		
	美瑛東小学校	(4)	(2)	(6)	(1)	(4)	(5)	(3)	(2)	(5)	(2)	(4)	(6)	(1)	(7)	(14)	(31)	(7)	(3)	(1)	(1)	(5)		
	小学校計	(12)	(4)	(16)	(9)	(11)	(20)	(10)	(9)	(19)	(10)	(12)	(16)	(5)	(21)	(65)	(102)	(25)	(7)	(2)	(2)	(7)	(16)	
	美瑛中学校	(4)	(6)	(10)	(8)	(11)	(19)	(11)	(2)	(13)					(23)	(19)	(42)	(8)	(6)	(1)	(2)	(9)		
	美馬牛中学校	(4)	(1)	(5)	(1)	(1)	(2)	(2)		(2)					(7)	(2)	(9)	(3)	(1)		(1)	(2)		
	中学校計	(8)	(7)	(15)	(9)	(12)	(21)	(13)	(2)	(15)					(30)	(21)	(51)	(11)	(7)	(1)	(1)	(3)	(11)	
	合計	32	40	72	41	44	85	37	44	81					110	128	238	19	4	41	2	4	3	54
	合計	280	330	610											(95)	(58)	(153)	(36)	(14)	(3)	(10)	(27)	(27)	

※教員数には「教育支援員」を含む [令和6年5月1日現在]

2. 校舎整備(主な整備の実績等)

○令和3年度実績

(1) 給食室エアコン設置工事(美沢小・美馬牛中)	3,300千円
(2) 美馬牛小学校キュービクル改修工事	3,883千円
(3) 宇莫別小学校体育館屋根改修工事	8,223千円
(4) 美瑛小学校周辺環境整備工事	2,838千円
(5) 美瑛中学校環境整備工事	2,222千円
(6) 美瑛中学校通学路樹木柵整備工事	2,178千円
(7) 美瑛中学校エアコン設置工事 [繰越明許]	9,218千円
(8) 小中学校感染症対策網戸設置工事 [繰越明許]	1,081千円
(9) 美馬牛中学校改修工事(中規模改修)	38,544千円

○令和4年度実績

(1) 美瑛小学校エアコン設置工事 [繰越明許]	12,562千円
(2) 美沢小学校高圧ケーブル更新工事	1,573千円
(3) 短焦点壁掛け対応型プロジェクター設置工事	1,606千円
(4) 小中学校感染症対策空調設備等設置工事	2,464千円

○令和5年度実績

(1) 美瑛東小学校エアコン設置工事 [繰越明許]	17,116千円
(2) 美沢小学校2階給湯管更新工事	4,180千円
(3) 明德小学校階段室サッシ取替工事	2,695千円

○令和6年度計画

(1) 小中学校エアコン設置工事 [繰越明許]	
(2) 美馬牛小学校廊下等LED化工事	
(3) 明德小学校体育館屋根塗装工事	
(4) 美瑛中学校マンホール改修工事	

3. 教材・教具の整備

学校において児童、生徒の教育指導を効果的に行うために、教材、教具を整備し学校教育の効果を高めていかなければならない。

また、時代に即した教育環境の整備を図るとともに、子育て世代の保護者を支援するべく、教育活動に要する費用負担の軽減にも取り組んでいる。

(1) 小学校費

年度	教材・教具費	5月1日現在児童数	1人当単価
R4決算	6,275,715円	423人	14,836円
R5決算	8,508,860円	388人	21,930円
R6予算	7,611,000円	372人	20,460円

(2) 中学校費

年度	教材・教具費	5月1日現在生徒数	1人当単価
R4決算	4,506,738円	218人	20,673円
R5決算	6,732,898円	235人	28,650円
R6予算	5,659,000円	238人	23,777円

4. 情報教育の充実

情報社会の進展と新しい学習指導要領の施行に対応する情報活用能力を培う情報教育を推進させる。

(1) 教育用コンピュータ設置台数

学校	2in1型 windowsPC	iPad	Chromebook	指導者用 ノートPC
美瑛小学校	40台	24台	221台	10台
美馬牛小学校		9台	29台	3台
美沢小学校		6台	11台	3台
明德小学校		12台	18台	3台
美瑛東小学校		17台	109台	6台
美瑛中学校	41台	21台	218台	6台
美馬牛中学校		17台	17台	3台
計	81台	106台	623台	34台

(2) 計画

多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、個々の状態に合った学びを保障し、創造性豊かで未来の情報社会で生きる力が養われるよう、美瑛町学校教育情報化推進計画を始めとした各種計画に基づき、教育現場の情報化を推進している。

- 美瑛町学校教育情報化推進計画
- 美瑛町立小中学校情報セキュリティ・ポリシー
- 学習用情報端末Chromebook運用規程

5. 国際理解教育及び英語教育の充実

国際理解教育の推進を図るため、国際理解に関する教育課程の編成、英語指導助手（ALT）の活用及び国際化の教育に関する教職員の研修の充実を図っている。

年度	英語指導助手氏名	性別	国籍	事業実績
R 3	マーティン・コラレス・ジョシュア 鈴木 ジェシカ リアンキー・タヌッドジャヤ	男 女 男	アメリカ オーストラリア インドネシア	中学校100回 小学校374回
R 4	マーティン・コラレス・ジョシュア 鈴木 ジェシカ リアンキー・タヌッドジャヤ	男 女 男	アメリカ オーストラリア インドネシア	中学校120回 小学校383回
R 5	マーティン・コラレス・ジョシュア 鈴木 ジェシカ リアンキー・タヌッドジャヤ	男 女 男	アメリカ オーストラリア インドネシア	中学校167回 小学校396回
R 6	マーティン・コラレス・ジョシュア リアンキー・タヌッドジャヤ アウドゥヒューズデン さくらアリス	男 男 女	アメリカ インドネシア 日本	※計画 中学校147回 小学校353回

6. 就学援助

(1) 就学援助制度

①目的

経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、定められた項目について支給する。

②認定基準

ア 要保護児童生徒就学援助

生活保護法に規定する要保護者（保護を必要とされる状態にある者）

イ 準要保護児童生徒就学援助

次のいずれかに該当し、かつ、生活保護法の規定による方法により算定した前年分の収入額が同法の規定による厚生労働大臣が定める基準に基づいて算定した当該年分の最低生活費の1.2倍未満の者と生計を一にする者。

(ア) 生活保護法に基づく保護が、停止又は廃止された者（現在、生活保護を受けている者は該当しない。）

(イ) 町税（町民税、固定資産税）又は国民健康保険料が非課税又は減免された者

(ウ) 個人事業税が減免された者

(エ) 国民年金の掛け金が免除された者

(オ) 児童扶養手当の支給を受けている者

(カ) 生活福祉資金の貸付を受けている者

(キ) 前各号に掲げるものと同程度の経済状態にあると認められる者

③援助項目

項目	対象者
学用品費、通学用品費	準要保護に認定された者
体育実技用具費	準要保護児童生徒のうち、体育や保健体育の授業で正課として、スキーを実施しており、当該用具一式を購入する者（小学校1～3年生、4～6年生、中学校1～3年生の間にそれぞれ1回支給 ※ただし、授業を実施している学年のみ）
校外活動費	準要保護児童生徒のうち、校外活動に参加する者
新入学児童生徒学用品費	準要保護児童生徒のうち、新入学の者
修学旅行費	要保護・準要保護児童生徒のうち、修学旅行に参加する者

クラブ活動費	要保護・準要保護の生徒のうち、クラブ活動（部活動）に所属する者
生徒会費	準要保護児童生徒で通学する学校が生徒会費を定め、保護者の負担がある者
P T A会費	準要保護児童生徒で通学する学校がP T A会費を定め、保護者の負担がある者
卒業アルバム代等	要保護・準要保護の児童生徒（小学校6年生、中学校3年生）のうち卒業アルバムを購入する者
オンライン学習通信費	要保護・準要保護の児童生徒のうち、自宅等においてオンライン学習を受けた者

（2）特別支援教育就学奨励事業

①目的

特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、就学のため必要な経費の定められた項目のうち、その全部又は一部を支弁する。

②認定基準

特別支援学級に在籍する児童生徒で、特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令及び算定要領に基づいた支弁区分の決定により、支給基準に該当となる者。

③援助項目

項目	対象者
学用品費、通学用品費	認定された者
体育実技用具費	体育や保健体育の授業で正課として、スキーを実施しており、当該用具一式を購入する者（小学校1～3年生、4～6年生、中学校1～3年生の間にそれぞれ1回支給※ただし、授業を実施している学年のみ）
校外活動費	校外活動に参加する者
新入学児童生徒学用品費	新入学の者
修学旅行費	修学旅行に参加する者
通学に要する交通費（通学費）	通級指導教室（ことばの教室・そだちの教室・すだちの教室）に通級する児童生徒で、市街地の小中学校以外の学校から通級する者
オンライン学習通信費	自宅等においてオンライン学習を受けた者

7. 教職員の研修

教職員一人一人の資質を向上させるための研修活動の充実を図るとともに、児童生徒の成長を導く校内研修や専門性向上の計画的な個人研修授業を中核とした系統的持続的な実践研究、実践研究の累積と研究交流の推進、道内外研修の実施等を行い研修体制の一層の充実を図っている。

(1) 美瑛町教育研究会

①研究推進の基本方針

「生きる力」の基盤となる、確かな学力、豊かな人間性、健康でたくましい体力を持つ調和のとれた児童生徒を育成するために、創意と活力に満ちた教育活動の推進に努める。

②研究推進の主題

「ふるさと美瑛に誇りをもち、
心豊かに支え合う児童生徒を育成するための実践的研究」
～自らの夢や目標に向かって、
互いに高め合い挑戦する児童生徒の育成～

③研究推進の重点

ア 研究活動

- (ア) 班活動の累積・発展を図るため、班長の任期を含めてできるだけ2年サイクルでの研究を推進する。
- (イ) 班研究の成果及び課題を次年度に生かせるよう、班ごとにファイルを作成する。
- (ウ) 会員相互及び他の教育団体との研究活動の交流に努める。
- (エ) 研究の総まとめとして「研究紀要」を発刊し、活動の成果や課題を累積し、次年度の研究へとつなげる。

イ 児童生徒に関わる行事

- (ア) 児童生徒に関わる行事を計画に従って遂行する。
- (イ) 実施に当たっては、前年度の反省を生かし、会員の意見を十分に反映させながら行う。
- (ウ) スムーズな運営を行うため、必要に応じて運営委員会を設ける。
- (エ) 教育委員会との連携を十分に図りながら、各種行事を推進する。

(2) 教職員研修事業

教育課題解決に向け、教職員が独自に計画し実施する研修に要する費用（旅費及び資料代）の一部を助成している。

8. 学校保健

学校保健衛生の向上と健康安全教育の推進のため、児童生徒及び教職員の健康管理を重視し、定期健康診断及び疾病予防のための各種検査を実施している。

一方、学校の実態に即した保健指導を行い、児童・生徒の健康保持、増進に努めるとともに安全対策に力を注ぎ、学校内での災害防止や通学途中での交通事故の防止に万全を期している。

○保健管理

(1) 実施業務

検診の種類	対象者	備考
内科	全員	年1回、学校医が行う
歯科	全員	年1回、学校歯科医が行う
尿	全員	年1回、美瑛町立病院に検査を委託
心電図	小学1年 中学1年	年1回、旭川医師会健康管理診療所に委託
結核	全員	年1回、問診票により内科検診の際に行う

(2) 学校医等

委嘱医療機関名	業務名	備考
美瑛町立病院	村住 和彦	学 校 医
	横尾 英樹	学 校 医
	林 秀美	学 校 医
美瑛循環器・ 内科クリニック	藤原 正文	学 校 医
丘のまち歯科 クリニック	三浦 一仁	学校歯科医
しらとり歯科 クリニック	白取 秀樹	学校歯科医
Y o uすまいる歯科	小林 祐二	学校歯科医
	小林 利夫	
山崎歯科 クリニック	山崎 清仁	学校歯科医
美瑛町立病院	島津 洋之	学校薬剤師
	大場 寛久	

9. 学校給食

学校給食は、全学校が単独給食実施校で完全給食となっており、物資の購入については各学校で行い、献立は教育委員会の学校栄養教諭が作成し各学校に配布している。

(1) 米飯給食の実施状況

週3回以上の米飯給食をすべての学校で行っている。

(2) 給食人員

小学校			中学校			給食人員		
学校数	児童数	職員数	学校数	生徒数	職員数	児童 生徒数	職員数	合計
5校	372人	127人	2校	238人	66人	610人	193人	803人

(令和6年5月1日現在)

(3) 給食費 (参考)

学校名	年額	1食あたり	内訳		給食実施回数	米飯給食実施回数
			主食 +副食	牛乳		
美瑛小	51,250円	250円	189.98円	60.02円	205回	週3回
美瑛中	56,840円	280円	219.98円	60.02円	203回	週3回

(令和5年度実績)

10. スクールバス

昭和24年より国鉄バスが運行されていたが、国鉄合理化のため運行が廃止された。

現在の交通機関は、市街地を中心に放射状となって、郊外へ向け10路線のスクールバスを運行しているが、児童生徒の通学の足の確保はもとより校外学習での活用並びに一般住民混乗方式で利用されている。

(1) 路線別運行

運行年月日	運行路線	運行回数	
S60.4.1	置杵牛線・宇莫別線・水沢線・美田五稜線	3往復	日祭日 運 休
S61.4.1	美馬牛線・俵真布線・二股線	3往復	
H3.4.1	旭線	3往復	
H23.4.6	夕張福富憩線・ルベ新栄線	3往復	

(2) バス車種

種別	台数	会社名	運行路線	年式	乗車定員
小型バス	1	日野自動車	美馬牛	H24	29人
小型バス	1	三菱ふそう トラックバス	俵真布	H31	29人
小型バス	1	日野自動車	ルベ新栄	H14	29人
小型バス	1	三菱ふそう トラックバス	二股	R4	29人
中型バス	1	いすゞ自動車	宇莫別	H25	45人
小型バス	1	三菱ふそう トラックバス	置杵牛	H30	29人
小型バス	1	日野自動車	水沢	H27	29人
小型バス	1	トヨタ自動車	美田・五稜	H29	29人
中型バス	1	いすゞ自動車	旭	H23	46人
小型バス	1	日野自動車	夕張福富憩	H23	26人
中型バス	1	いすゞ自動車	予備車	H19	41人
中型バス	1	いすゞ自動車	予備車	H17	41人

(3) 乗車人数

路線名	R 元	R 2	R 3	R 4	R 5
美田・五稜線	4,059	4,817	5,099	4,024	3,881
宇莫別線	4,714	6,165	6,447	7,138	6,571
水沢線	2,683	2,643	2,323	2,686	2,468
二股線	5,795	6,268	6,215	5,159	3,734
美馬牛線	2,948	2,408	2,354	1,747	1,316
置杵牛線	2,245	2,888	3,694	4,615	5,069
俵真布線	7,453	8,188	7,848	8,976	9,275
旭線	5,025	4,612	4,913	4,848	7,036
夕張福富憩線	2,827	2,163	3,426	3,080	2,467
ルベ新栄線	2,969	3,144	2,276	1,505	1,769
合計	40,718	43,296	44,595	43,778	43,586

11. 保育の現況

年度	学齡前児童数	認可保育所	へき地保育所	幼稚園
R 2	292 人	112 人	23 人	72 人
R 3	276 人	104 人	21 人	76 人
R 4	275 人	109 人	21 人	80 人
R 5	267 人	103 人	18 人	87 人
R 6	248 人	108 人	2 人	85 人

(令和6年5月現在)

12. 学童保育

- (1) 開設 平成4年8月18日
 (2) 開設場所 美瑛町丸山2丁目8番15号 美瑛東小学校内
 (3) 開所日 月～金曜日：下校時～午後6時
 土曜日・春休み・夏休み・冬休み期間：午前8時～午後6時
 ※平成28年度より開設時間を前後30分延長

(4) 概要

①目的

遊びを通じて自主性・創造性を養うとともに家庭や社会生活に必要な規律・礼儀・健康・安全確保などが養われるよう指導を行うことを目的とする。

②対象者

美瑛東小学校の学童で、放課後帰宅しても保護者等が就労などにより家庭を留守にするため、保護指導が受けられないことを常態としている学童。

③学年別在籍者数

学年		1	2	3	4	5	6	合計
人数	男	8 人	6 人	8 人	1 人	3 人	1 人	27 人
	女	8 人	8 人	12 人	9 人	5 人	2 人	44 人
	計	16 人	14 人	20 人	10 人	8 人	3 人	71 人

(令和6年5月現在)

④職員

主事：1人（校長） 主事補：1人（教頭） 指導員：4人
代替指導員：2人 計8人

⑤開所等実績（令和5年度）

開所日計：257日（月平均21日）
延利用者数：6,856人（1日平均27人）

美瑛町立小・中学校・道立高等学校 校長・教頭名簿

【小学校】

(R6.4.1)

学校名	校長名	教頭名	電話番号	FAX番号	学校所在地
美 瑛	いけだ ゆきのり 池 田 幸 則	いとう ひろき 伊 藤 洋 貴	92-2145	92-2146	西町2丁目1番1号
美 馬 牛	やまだ ゆうこ 山 田 裕 子	いとう しゅういち 伊 藤 修 一	95-2113	68-6677	美馬牛南2丁目2番58号
美 沢	あらかわ みなこ 荒 川 美奈子	あらい かおり 荒 井 香 織	92-4960	92-9080	字美沢中央
明 徳	そうま みちえ 相 馬 美智枝	くらた あつお 倉 田 淳 生	96-2117	96-2848	字朗根内町内
美 瑛 東	よねつ まさおみ 米 津 理 臣	たかはし けんゆう 高 橋 賢 祐	92-1205	92-1206	丸山2丁目8番15号

【中学校】

学校名	校長名	教頭名	電話番号	FAX番号	学校所在地
美 瑛	かなやま たつや 金 山 達 也	むらかみ まさよし 村 上 政 義	92-2175	92-2176	字美瑛原野4線
美 馬 牛	さとう まさき 佐 藤 雅 輝	すどう かずひろ 須 藤 和 宏	95-2129	68-6006	美馬牛北3丁目7番1号

【高等学校】

学校名	校長名	教頭名	電話番号	FAX番号	学校所在地
美 瑛	みかみ えいいち 三上 英一	あまの じゅんや 天 野 潤 也	92-1054	92-1732	旭町1丁目9番2号

美瑛町PTA連合会役員

役職	氏名	区分	学校名	備考
会 長	絹川 健司	P	美瑛中学校	単P会長
副 会 長	伊藤 敬	P	美沢小学校	単P会長
	鎌田 和孝	P	明德小学校	単P会長
監 事	菅野 誠	P	美馬牛中学校	単P会長
	高橋 賢祐	T	美瑛東小学校	前事務局
理 事	中澤 誠博	P	美馬牛小学校	単P会長
	古村 卓也	P	美瑛小学校	単P会長
	田中 芳久	P	美瑛東小学校	単P会長
	富田 誠	P	美瑛高等学校	単P会長
事 務 局	美瑛中学校	事務局長	村上 政義	
		事務局次長	長友 幸司	
		会計	紙谷 里恵	

美瑛町文化財審議会委員

(任期 R5. 4. 1～R7. 3. 31)

氏名	備考
内藤美佐雄	
藤原 悟	

美瑛町教育表彰審議会委員

(任期 R6. 4. 1～R8. 3. 31)

所属	氏名	備考
校長会代表	相馬美智枝	明德小学校
文化団体代表	高橋 良彦	文化連盟
体育団体代表	安田 伸幸	スポーツ協会
少年団体代表	笠原 裕介	少年団育成連絡協議会
婦人団体代表	西森 郁子	婦人団体連絡協議会
学識経験者	石田 貴宏	国立大雪青少年交流の家次長
学識経験者	絹川 健司	P T A連合会

図書館運営

図書館は、あらゆる世代の町民の生涯学習活動を支援するための大きな役割を担っており、利用者ニーズにあった資料と情報の収集、整理、保管を進め、北海道立図書館等関係機関と連携しながら、読書環境の充実に取り組んでまいります。

また、図書館利用者の皆さまが必要とする情報を効率よく入手できるように、自己学習支援の一つである「レファレンス」の普及・活用促進と職員の資質向上を図りながら、様々な分野の問題解決への糸口をサポートしていきたいと考えております。

図書館の利用促進事業として、図書館フェスティバルや季節ごとの各種イベントの開催、町民の作品等の展示や図書の企画展示を行うほか、長期休業中には子どもたちの学習の場として会議室を解放するなどの取り組みを継続します。

また、読書への関心をさらに深めていただくため、中学生以下を対象に読書通帳一冊終了ごとに本を贈呈する読書活動応援事業を行うとともに、滞在型利用を志向する利用者への居心地のよい空間の提供や、毎週水曜日の閉館時間を1時間延長し様々な方に利用しやすい環境とするなど、利用者へのサービス向上と町民誰もが訪れたい魅力ある図書館づくりに努めます。

子どもの読書環境の充実につきまちは、「子どもの読書活動推進計画」を基本として、読み聞かせボランティアグループの協力によるおはなし会や、生後6カ月のお子様と保護者を対象に本を通じた親子の触れ合いを促進するブックスタート事業を引き続き行います。子どもたちにとって身近な場所である学校や児童館への団体貸出を継続して行い、学校と図書館の連携により学校図書室の機能の充実に図ると共に、図書館司書の資格を持つ職員が定期的に学校を訪問し、引き続き読書環境の整備と朝読や調べ学習などの読書活動への支援を進めます。

情報機器類の急速な進化と普及により、情報収集や娯楽が容易になり、読書離れが問題となる中、図書館の利用価値を利用者と共に考え、時代にあった図書館機能の見直しを図ることが今後の課題です。

○図書館概要

- 1 所在地 美瑛町幸町1丁目1番10号
- 2 休館日 月曜日、祝日、図書整理日、年末年始
- 3 利用時間 午前10時～午後6時（毎週水曜日のみ午後7時まで）

4 沿 革

- 大正 5年 村立図書館 美瑛村農会内に開設 蔵書200冊
- 戦中戦後 青年学級から美瑛中学校さらに公民館（西町1）に移転
- 昭和33年 巡回文庫開始 分館単位
- 34年 公民館図書部となる 1,687冊
- 38年 公民館図書室（本町3）となる
- 49年 移動図書館「にちりん号」開始
- 52年 公民館が町民センターに移転。図書室が残る
- 54年 町開基80周年記念事業として大改修。1階に公民館附属図書館開館 職員は公民館と兼任
- 63年 職員が専任となる
- 平成 2年 図書館条例を制定し、美瑛町図書館となる
- 11年 移動図書館を年度末をもって廃止
- 24年 現在地へ新築 6月オープン
- 26年 読書通帳機導入
- 令和 2年 図書消毒機導入

1. 蔵書数及び貸出数（R5実績）

	年間受入冊数（寄贈含む※）		蔵書合計			貸出冊数			
	内購入	内児童書	児童書	一般書	合計	児童書	一般書	合計	
総記	69	58	14	254	959	1,213	441	474	915
宗教・心理学	62	56	12	277	1,400	1,677	507	1,008	1,515
歴史・地理	158	145	42	932	3,252	4,184	1,225	1,969	3,194
社会・教育	181	162	25	739	3,619	4,358	902	1,611	2,513
理科・医療	191	167	69	1,607	2,089	3,696	2,211	1,596	3,807
工学・家政学	281	235	45	658	3,840	4,498	977	4,831	5,808
産業	77	53	10	445	1,789	2,234	403	921	1,324
芸術・スポーツ	219	130	34	915	3,443	4,358	1,286	1,540	2,826
言語	11	9	2	241	441	682	199	229	428
文学	949	853	226	7,620	22,664	30,284	5,582	15,576	21,158
絵本・紙芝居	383	355	383	10,188	0	10,188	14,108	0	14,108
雑誌	675	658	0	0	1,531	1,531	0	3,353	3,353
視聴覚	31	12	0	0	882	882	0	1,794	1,794
漫画	596	158	596	4,127	0	4,127	15,628	0	15,628
郷土資料等	57	3	0	0	3,479	3,479	0	221	221
合計	3,940	3,054	1,458	28,003	49,388	77,391	43,469	35,123	78,592

※寄贈図書の内訳（雑誌等除く）～886冊（児童書500冊、一般書386冊）

受入雑誌種数 39種 受入新聞種数 6種

相互貸借（他館協力）貸し出し 128冊、借り受け 272冊

2. 利用状況（開館日数・・・297日）

区分	児童	一般	団体	計	備考
登録者数（人）	678	6,657	68	7,403	
延利用者数（人）	3,930	11,854	453	16,237	1日平均利用者数 54.7人
貸出冊数（冊）	23,823	45,959	8,810	78,592	1日平均貸出冊数 264.6冊
AVコーナー利用者				485	
PCコーナー利用者				694	

・新刊割合（購入÷蔵書冊数） 3.9%

・蔵書回転率（貸出÷蔵書） 101.6%

3. 図書館事業

- (1) 図書資料貸出
- (2) レファレンス
- (3) ブックスタート事業
- (4) 読書活動推進事業（展示、おはなし会、施設への貸出事業）
- (5) 図書館利用促進事業（壁面ギャラリー、古本市、図書館フェスティバル、小中学校 長期休暇中の月曜祝日開館）
- (6) 学校支援事業
- (7) 読書通帳事業
- (8) 子どもの読書活動応援事業

4. 図書館協議会

(任期：R5. 4. 1～R7. 3. 31)

役職	区分	氏名	備考
会 長	文化団体	飯田 博志	
副会長	図書館ボランティア	小北千津子	おはなし会「あいあい」
委 員	学校関係	米津 理臣	美瑛東小学校
委 員	学識経験者	小寺 利典	
委 員	一般公募	鈴木 眞美	
委 員	一般公募	荒明 千春	

令和6年度社会教育推進方針

人口減少や少子高齢化をはじめとする多様な課題の顕在化、価値観の多様化やライフスタイルの変化など、近年の地域社会や社会教育を取り巻く環境にはさまざまな課題が存在しています。このような情勢の中、教育の基本である「ひとづくり」にとどまることなく、「地域の担い手づくり」や「つながりづくり」へと発展していくような継続的な学習の体制づくりが求められております。

そのためにも、「町民憲章」の実践に努め、第10次社会教育中期計画（令和3年度から令和7年度）に掲げる、「きっかけ」「つながり」「やりがい」の三つの柱が、効果的かつ積極的に実践されるように努めます。

社会教育推進目標の「何かをしたいと考え始めるきっかけ、何かをしたいときに始められるきっかけ、二つのきっかけを提供する」、「他者への思いやりやお互いを理解し合う豊かな心をつながりの中で育めるよう、さまざまな枠組みで交流の場を提供する」、「学習やスポーツなどに取り組む人が、やりがいを感じながら活動できるよう発表の場の提供や施設機能の整備と充実を図る」の三つの重要な柱を推進し、「はつらつとした学習活動の促進」、「家庭の教育力の向上への支援」、「地域の子どもたちを育てる環境づくり」、「文化・スポーツ活動の推進」の視点から、町民の方々のニーズに応える事業に取り組むとともに、情報収集・提供に努めます。

1. はつらつとした学習活動の促進

学習活動の推進については、一人一人のニーズや住民課題に対応した事業の実施はもちろん、社会問題や地域課題に対応する事業展開も必要であり、幅広いプログラムの開発・提供を図る必要があります。多くの学習課題に対応するために、社会教育部門だけで実施するのではなく、関係機関・大学・企業などとの連携による事業立案や情報提供に努めます。

公民館事業としては、高齢者のはつらつとした人生の確立と社会参加を目的とする「すずらん大学」、成人対象の「大人カルチャースクール」や「いきがいづくり講座」などを継続して実施し、新たな趣味の発見や仲間づくりの場の提供に取り組みます。

また、児童生徒対象の事業では、「こども陶芸教室」や「自然とふれあいの里」などの体験活動プログラムを充実させ、集団活動をとおして主体性や自主性の育成に努めます。

さらには、芸術・文化活動の推進を図るため、町民センターの施設・設備の

積極的な活用と各種団体やサークルの活動を支援し、より利用しやすい施設運営に取り組みます。

丘のまち郷土学館においては、「郷土の歴史についての学び」「自然についての学び」「未知なる宇宙についての学び」を美瑛学の柱とし、ワンヘルスやSDGsなどの理念を加えたさまざまな美瑛学プログラムの企画、実践に引き続き取り組みます。

十勝岳ジオパーク活動については、十勝岳ジオパーク推進協議会を主体として、ジオパークガイドの養成や防災教育などに引き続き取り組み、他のジオパーク地域の活動で得られた知見を生かし地域資源の保全活用及び魅力向上に努めます。

2. 家庭の教育力の向上への支援

家庭教育は、子どもたちの健やかな育ちの基盤であり、すべての教育の出発点です。しかし、近年は地域とのつながりの希薄化や、親が身近な人から子育てについて学んだり、助け合う機会の減少など、子育てや家庭教育を支える社会環境が大きく変化しています。

このため、悩みを抱える親の子育て相談・情報提供など、きめ細かな家庭教育支援の充実が求められています。こうしたことから、今後も家庭の教育力の向上への支援に向け、子どもの発達段階に応じた課題を踏まえた親と子のコミュニケーションをさらに深める機会の充実を図るため、出会いふれあい祭りや食育講座を実施します。

3. 子どもたちを育てる環境づくりと分館活動

社会環境の変化を背景に「地域教育力の低下」が指摘され、地域社会全体で子どもを育てる意識を持つことが強く求められており、地域教育力の向上は重要な課題です。

丘のまち郷土学館においては、子どもたちを対象としたジュニア美瑛学事業として、町の歴史、産業、自然などについて地域で活躍する大人から直接学ぶ機会を設け、郷土愛を育てるプログラムを実施します。

また、地域の子どもたちの安全を確保するため、「子ども110番の家」の活動を継続するとともに、各種団体の組織化や連携強化を目指した活動支援に努め、地域住民自らが、まちづくりに取り組むことのできる環境づくりを進めます。

地域教育力の向上については、公民館分館の果たす役割は大きなものがあります。分館が地域に根ざした活動を推進できるよう、さまざまな手法を用いて

支援します。

4. 文化・スポーツ活動の推進

生活環境の変化や余暇時間の増加に伴い、人々は感動や生きる喜び、心の豊かさや活力と潤いある生活を築くための趣味や教養の向上、創作活動などの文化活動への関心が高まっています。

このような状況を踏まえ、文化活動推進のため、町民センター多目的ホール「美丘」の利用促進を図るとともに、町民ニーズに応えた芸術文化事業などを企画し、町民が広く芸術文化に親しむ機会を提供します。

また、地域に根ざした文化連盟・各種サークルに対しては、さらなる活性化に向けて積極的な情報発信や活動を支援します。

健康づくりや体力向上については、町民のスポーツ活動への意欲や興味関心が高まっており、これらの活動が地域づくりにも大きな役割を果たしていることから、スポーツ振興は重要となっています。スポーツは、心身の健全な発達や健康及び体力の保持増進、また精神的な充足感の獲得など、体を動かす楽しさや喜び、健康増進や生きがいをもたらす、心身の健康の保持増進及び健康寿命の延伸が期待されます。

町民プールの運営については民間のノウハウを生かし、より町民にとって利用しやすい快適なサービスを提供することができるよう指定管理者制度を導入し、スポーツセンターとともに町民の健康づくりの拠点として活用されることが期待されます。今後も、幼児から高齢者まで幅広い年代の人が利用できるよう水泳教室や水中運動教室を通年開催するなど、身近にあるプールを積極的に使用し、健康や体力づくりに取り組むことができるような環境づくりを行います。

また、スポーツセンター及び各種社会体育施設の利用促進については、個人の利用促進と併せて各種スポーツ教室や講座を開催するとともに「びえい健康♡嬉しい宣言事業」と連携しながら健康と運動の両面から取り組むことにより、町民がスポーツに親しみながら健康づくりができるきっかけづくりを行います。

**美瑛町社会教育委員兼
公民館運営審議会委員兼
生涯学習推進委員**

(任期 R6. 4. 1～R8. 3. 31)

選出区分	氏名
小学校	荒川美奈子
中学校	佐藤 雅輝
高等学校	天野 潤也
少年団体	笠原 裕介
青年団体	河村 将寿
婦人団体	宇野 佳子
文化団体	高橋 良彦
体育団体	三野 雅司
学識経験者	佐藤 憲明
学識経験者	岡崎 一佳

美瑛町スポーツ推進委員

(任期 R6. 4. 1～R8. 3. 31)

氏名	備考
阿部 健二	
富田 香織	
小嶋 仁人	
佐藤 素明	
増山 照実	
小寺 利典	
天野 潤也	美瑛高等学校
五十嵐 敬	美瑛中学校
伊藤 洋貴	美瑛小学校
池田千佳子	美瑛東小学校

美瑛町スポーツ教室運営委員

(任期 R6. 4. 1～R8. 3. 31)

選出区分	氏名	備考
スポーツ推進委員	阿部 健二	
〃	富田 香織	
〃	小嶋 仁人	
〃	佐藤 素明	
〃	増山 照実	
〃	小寺 利典	
〃	天野 潤也	美瑛高等学校
〃	五十嵐 敬	美瑛中学校
〃	伊藤 洋貴	美瑛小学校
〃	池田千佳子	美瑛東小学校
旭地区 推進委員	高林 信行	
北瑛地区 推進委員	只野 達郎	
美田地区 推進委員	杉山 直人	
五稜地区 推進委員	辻 大輔	
西美地区 推進委員	外山 駿介	
美馬牛地区 推進委員	山田 裕子	
美沢地区 推進委員	橋本 大輔	
明德地区 推進委員	平松 勇人	
俵真布地区 推進委員	吉田 鉄平	
宇莫別地区 推進委員	浦 薫	

美瑛町公民館 分館長・分館主事

分館名	分館長氏名	分館主事氏名	分館所在地
旭	高林 信行	柴垣 裕太	字旭北星
北 瑛	村形勇樹雄	村形 博教	字北瑛第2
美 田	水口 征人	杉山 直人	字美田第2
五 稜	早坂 清彦	長谷川 宏	字五稜第5
二 股	小西 良廣	鎌上加代子	字二股富美
西 美	佐藤 俊光	外山 駿介	字瑠辺薬第2
美馬牛	山田 裕子	伊藤 修一	美馬牛南2丁目2番58号 美馬牛小学校内
美 沢	荒川美奈子	荒井 香織	美沢中央 美沢小学校内
美 進	白田 泰弘	辻 英則	字下字莫別朝日
字莫別	浦 薫	唐沢 宏之	字中字莫別第2
明 徳	相馬美智枝	倉田 淳生	字朗根内町内 明徳小学校内
俵真布	吉田 鉄平	藤原奈央子	字俵真布中央

美瑛町郷土学館運営協議会委員

(任期 R6.4.1~R8.3.31)

区分	氏名	備考
学識経験者	内藤美佐雄	美瑛町山岳会
学識経験者	藤原 悟	美瑛町郷土史料保存会
学識経験者	池田 幸則	美瑛町教育研究会
学識経験者	山下 達也	国立大雪青少年交流の家
公 募	東海しのぶ	
公 募	春澤 秀之	

美瑛町青年会議役員

役職名	氏名	所属団体
会 長	花輪 紀宏	商工会青年部
副会長	坂田 敬太	J A青年部
会 計	森谷 拓磨	B B S
監 事	真田 雄司	酪青研
	北村 敬太	美青協

美瑛町婦人団体連絡協議会役員

役職名	氏名	所属
会 長	西森 郁子	婦人親交会
副会長	帯刀 ルミ	商工女性部
	有富 幸子	J A女性部
会 計	内田 朋子	ネットワークすずらん
書 記	宇野 佳子	婦人親交会
	片山 明美	ネットワークすずらん
監 事	源津 明美	婦人親交会
	藤田 由美	婦人親交会

美瑛町少年団育成連絡協議会役員

役職名	氏名	育成会名
会 長	笠原 裕介	美馬牛
副会長	鈴木 義博	大町
会 計	橋本 奈歩	美沢
監 事	千葉 千春	東瑛
監 事	中澤 明美	美馬牛
事業部	大場慎太郎	美沢

美瑛町スポーツ協会役員

役職名	氏名	備考
会 長	齊藤 幸一	美瑛スキー連盟
副会長	三野 雅司	美瑛町バレーボール協会
	安田 伸幸	美瑛軟式野球連盟
理事長	佐藤 誉修	美瑛バスケットボール協会
副理事長	京屋 孝治	学識経験者
	佐藤 衡一	美瑛山岳会
会 計	岸田 大	美瑛軟式野球連盟
監 事	和氣 右典	美瑛柔道連盟
	柴田 崇史	美瑛町バドミントン協会
理 事	梅田 一輝	美瑛町バドミントン協会
	平間 克哉	美瑛町バレーボール協会
	佐藤 衡一	美瑛山岳会
	桑谷 覚	美瑛相撲同志会
	岸田 大	美瑛軟式野球連盟
	寒藤 和也	美瑛剣道連盟
	佐藤 誉修	美瑛バスケットボール協会
	増山 和則	美瑛町弓道連盟
	和氣 右典	美瑛柔道連盟
	米田 浩幸	美瑛スキー連盟
	蒔田 哲雄	美瑛ゲートボール連合
	見田 仁恵	学識経験者

社会教育・社会体育・学校開放施設一覧

	施設名	住所	面積	施設内用	
社会教育	町民センター	寿町2丁目3-13	1,774 m ²	事務所1 会議室等10 ホール1 調理室1	
	地域人材育成研修交流センター	字旭北星	1,441 m ²	宿泊室17 (45床) 研修室2 事務室1 多目的室1 食堂1 浴室男女各1 体育館	
	郷土学館	栄町4丁目1-1	533 m ²	事務室1 展示室3 学習体験室1 自主学習コーナー 天文コーナー 観察室	
	図書館	幸町1丁目1-10	1,098 m ²	図書 77,391冊	
	野外ステージ	丸山1丁目	45 m ²		
	丸山陸上競技場	丸山1丁目	20,571 m ²	1周 400m 6コース	
	相撲場	丸山1丁目	900 m ²	屋根付	
	町民プール	丸山2丁目1-1	1,285 m ²	25m×6コース (うち3コースは可動床) 幼児用 (水深50cm) 乳幼児プール (水深10cm)	
	弓道場	丸山1丁目1-8	1,004 m ²	10人立	
	丸山橋パークゴルフ場	字水上	11,918 m ²	18ホール (パー66) L=959m	
	新区画パークゴルフ場	字新区画	36,000 m ²	18ホール (パー66) L=913m	
	みどり橋パークゴルフ場	みどり	15,647 m ²	18ホール (パー66) L=1,000m	
	丸山球場	丸山2丁目	12,500 m ²	ダッグアウト 外野フェンス (両翼91m、中堅112m)	
	町民スキー場	字大村村山	80,300 m ²	ロープトウ (1基135m) 夜間照明	
	美瑛町滑空場	字美沢川向	95,000 m ²	格納庫1棟	
	美瑛町白金クレー射撃場	字美沢美生	166,000 m ²	トラップ射撃 スキー射撃 事務所兼研修施設1棟	
	社会体育	ふれあい運動広場	字美瑛原野3線	23,279 m ²	硬式テニスコート6面 ゲートボールコート8面 多目的コート1面
美瑛町スポーツセンター		丸山1丁目1-9	3,088 m ²	アリーナ (1,484m ²) バスケケットボール2面 バレーボール2面 バドミントン8面 武道館 (421m ²) 226畳	
美瑛小学校体育館		西町2丁目1-1	1,085 m ²	バスケケットボール・バレーボール2面 バドミントン4面	
美馬牛小学校体育館		美馬牛南2丁目2-58	660 m ²	バスケケットボール・バレーボール1面 バドミントン2面	
美沢小学校体育館		字美沢中央	679 m ²	バスケケットボール・バレーボール1面 バドミントン3面	
明徳小学校体育館		字朗根内町内	763 m ²	バスケケットボール1面 バレーボール2面 バドミントン3面	
美瑛東小学校体育館		丸山2丁目8-15	805 m ²	バスケケットボール・バレーボール1面 バドミントン3面	
宇莫別小学校体育館		字宇莫別第2	405 m ²	バレーボール1面 バドミントン2面	
美瑛中学校体育館		字美瑛原野4線	1,201 m ²	バスケケットボール・バレーボール2面 バドミントン6面	
美馬牛中学校体育館		美馬牛北3丁目7-1	771 m ²	バスケケットボール1面 バレーボール2面 バドミントン3面	
学校教育		美瑛小学校体育館	西町2丁目1-1	1,085 m ²	バスケケットボール・バレーボール2面 バドミントン4面
		美馬牛小学校体育館	美馬牛南2丁目2-58	660 m ²	バスケケットボール・バレーボール1面 バドミントン2面
		美沢小学校体育館	字美沢中央	679 m ²	バスケケットボール・バレーボール1面 バドミントン3面
		明徳小学校体育館	字朗根内町内	763 m ²	バスケケットボール1面 バレーボール2面 バドミントン3面
		美瑛東小学校体育館	丸山2丁目8-15	805 m ²	バスケケットボール・バレーボール1面 バドミントン3面
		宇莫別小学校体育館	字宇莫別第2	405 m ²	バレーボール1面 バドミントン2面
		美瑛中学校体育館	字美瑛原野4線	1,201 m ²	バスケケットボール・バレーボール2面 バドミントン6面
	美馬牛中学校体育館	美馬牛北3丁目7-1	771 m ²	バスケケットボール1面 バレーボール2面 バドミントン3面	